

次期県立高校改革推進プラン（案）に関する意見募集結果について

千葉県教育庁企画管理部教育政策課

1 意見募集期間

令和3年12月22日（水）から令和4年1月18日（火）まで

2 意見提出状況（意見の延べ件数）

意見提出者数 61名（320件）

内訳： 電子メール（33） ファクシミリ（7） 郵送（21）

3 提出された意見と県の考え方

別紙のとおり。

県立高校改革推進プラン（案）に関する意見と県の考え方

※提出された意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

意見の概要	県の考え方
計画の基本的な考え方	
過疎地に住みアルバイトで家計を助ける生徒や家事を担う生徒、家族を介護する生徒にとって、自転車で通える地元高校は不可欠と思います。	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。
なぜ策定懇談会委員名簿を載せないのですか。	巻末の参考資料に掲載いたしました。
副座長意見の「教育委員会の学校への指導支援、財政支援、人事支援、事務室の改革、環境整備を」や、委員の「1市町1校の場合の特段の配慮」は、もっともな意見と思います。しかし、今回発表された案に、これらの意見は反映されていません。不採用となった理由をお教えてください。	いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。
新プラン作成には、他県がどのようなプランを作っているのか、前プランの「改革の方向性」等が達成状況を評価し、達成できなかった箇所の原因分析が必要だと思います。	前プランの評価につきましては、再編の実施年度から3年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら行っています。いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。
なぜ「策定のプロセス」に、前プラン「改革の方向性」等の達成度評価を載せないのですか。	
なぜ前プラン「改革の方向性」の「道德教育、キャリア教育、学力向上、学校運営」の達成度の評価を掲載しなかったのですか。	
なぜ前プランの「実施プログラム」は、総合学科への転換や学科・コースの設置など、いわゆる「高校再編」に限定しているのでしょうか。	前プランの実施プログラムは、生徒減少が著しい地域への対応や雇用状況、産業構造の変化への対応など、県立高校を取り巻く状況や課題等を踏まえ、策定しております。
なぜ前プランの実施プログラムでは「道德教育、キャリア教育、学力向上、学校運営」関係の施策群を掲載しなかったのですか。	
「改革の方向性」を着実に実現するには、他県プランのように教育課程、教員研修、学校経営、人事、外部人材配置、地域連携組織、包括連携協定、小・中学校・大学・他の高校との学校間連携、施設・設備・備品の整備も含めた「高校教育全般」にしなければ画餅になってしまいます。	いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。
前プランの「改革の方向性」のうち、高校再編以外の到達度を評価・検証しなかったのですか。	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。
なぜ策定のプロセスに中教審答申 P23 からの「今後の方向性」の一部分しか載せないのですか。	特に関連性の高いものに限らせていただきました。

<p>策定のプロセスに「連携・分担による学校マネジメントの実現、ICTとの最適な組み合わせの実現、履修主義と修得主義の組合せの適切な実現」は重要と思いますが、なぜ載せないのですか。</p>	<p>中央教育審議会答申の趣旨を踏まえ、改革の方向性（１）（６）の中で示しております。</p>
<p>なぜ県立高等学校の課題に中教審答申 P23 からの「今後の方向性」の「連携・分担による学校マネジメントの実現、ICTとの最適な組み合わせの実現、履修主義と修得主義の適切な組み合わせの実現」等を載せないのですか。</p>	
<p>改革の方向性の（１）に中教審答申にある「ICTとの最適な組み合わせ」や「履修主義と修得主義の適切な組み合わせ」を載せないのですか。</p>	
<p>なぜ県立高等学校を取り巻く国等の状況にOECDの日本の教育の評価と改善点の指摘、国の教育再生実行会議での議論と提言、国の教育振興基本計画、中教審への諮問と議論を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>なぜ県立高等学校の課題に中教審答申「学習意欲の低下、教師の疲弊、情報化への対応の遅れ」等を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>なぜ県立高等学校の課題に中教審答申 P 7 からの「自ら課題を見つけ解決する力の不足、同調圧力、学習意欲の低下、働き方改革」を載せないのですか。</p>	
<p>なぜ今後の産業構造予想と、今後の産業分類別の従業員の需給予想等を載せないのですか。</p>	<p>今後のキャリア教育の充実に向け、本県の現状を示すものとして掲載しております。</p>
<p>前プラン、他県プランでは P 5 のような観点はないのですが、なぜ今回加えたのですか。</p>	
<p>なぜ困窮家庭でアルバイトをしなければならない生徒、家事をしなければならない生徒、家族の介護をしなければならない生徒、日本語が不自由な生徒の増加を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>なぜ基本的コンセプトの（２）に「働き方改革」を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>基本的コンセプトに「（５）様々な困難を抱える子どもが自力で通える地元の学校」を追加し、「困窮家庭、家事負担、家族介護、日本語が不自由な子どもが自力で通える地元高校を維持するため、郡部の学校間でグループをつくり教員が学校間を移動するなどして多様な授業を展開する」旨を載せてください。</p>	<p>県立高校における課題（P 4）として認識しており、改革の方向性（４）（８）、計画実施上の重点事項（３）でお示ししている内容を具現化してまいります。また、郡部の学校間連携については、引き続き検討してまいります。</p>
<p>なぜ新プランでは、改革の方向性から前プランの主要項目「道徳教育、学力向上」が消えたのですか。</p>	<p>新プランは、生徒の多様なニーズへの対応、キャリア教育・職業教育の充実及び人口の減少など、本県の県立高校を取り巻く課題等を踏まえ、策定しております。</p>
<p>案には「懇談会でいただいた意見を踏まえる」とあります。新プランでは、「改革の方向性・重点事項」が画餅にならないよう、副座長意見「教育委員会の学校への様々な支援」、具体的には他県のような「教員の業務軽減計画、社会に開かれた教育課程実現のためのコーディネーター等外部人材配置計画、探究・地域協働の学び実現のための教員意識改革等研修計画・学校経営力強化計画、プレゼンテーション用大教室や図書の実等環境整備計画」等を明確に掲載願います。</p>	<p>改革の方向性（６）でお示ししておりますとおり、教育環境の整備について具現化を図ってまいります。</p>

<p>改革の方向性（１）の「大規模な単位制高校」は国の方針には無く、唐突で疑問です。</p>	<p>多様な選択科目の設定により、進路希望や興味・関心に応じた学習が可能となる単位制高校をより大規模にすることで、生徒の多様な学習ニーズに更に応えることが可能になると考えております。</p>
<p>改革の方向性（４）の「定時制高校」は評判が悪いので「様々なイメージアップを図る」と記載した方が良いです。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>改革の方向性（５）の前段に「各校の取組を踏まえ」を追記した方が良いです。</p>	<p>スクールポリシーについては、これまでの各校の取組等も踏まえ、策定するものと考えております。</p>
<p>改革の方向性（５）の後段に、中教審答申にある「地域住民と連携・協働し、学校と地域が相互にパートナーとなって」「教員の意識改革」を載せないのですか。</p>	<p>改革の方向性（５）及び（７）において述べております。</p>
<p>改革の方向性の（５）に中教審答申にある「連携・分担による学校マネジメントの実現」を載せないのですか。学びの改革はコーディネーターを活用した学校関係者、地域・企業等との連携学習が要です。多忙な教員の業務軽減を図るため、臨時講師等の配置、PTA・住民等の支援も重要です。「働き方改革」を明記し、現場の教員と教員を志す大学生に安心感を与えてください。</p>	<p>新プランにおいては、学校と他機関を円滑に繋ぐ役割としてのコーディネーターの配置について検討してまいります。</p>
<p>改革の方向性の（６）について、中教審答申には「加速度的な産業の変化に対応するため、地域産業界と一体となって」と書かれています。なぜ職業系高校の施設設備の近代化を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>なぜ改革の方向性（７）にコンソーシアム設置推進、県教育委員会での包括連携協定締結等を載せないのですか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>改革の方向性（８）について、生活費支援、家事支援、介護支援、日本語が困難な子どもなど、様々な困難を抱える子どもへの配慮として、郡部では自力通学できる地元高校をこれ以上減らさないこととすべきです。</p>	<p>今後、実施プログラムにおいてお示ししてまいります。</p>
<p>なぜ計画実施上の重点事項（１）に、中教審答申P23からの「教科横断的で探究的な学び、地域協働の学び 個別最適な学び」について記載しないのですか。（同様の趣旨でほか1件）</p>	<p>御意見を参考にしながら、「教科横断的で探究的な学び、地域協働の学び 個別最適な学び」が実現できるよう、新プランを推進してまいります。</p>
<p>なぜ計画実施上の重点事項（３）に学校関係者、小学校、中学校、大学、研究機関、企業等との連携を記載しないのですか。</p>	<p>御意見も参考にしながら、大学・企業等と連携し、生徒の興味・関心に応じた幅広い学びの機会を提供してまいります。</p>
<p>「1 普通科及び普通系専門学科・コース」の前に、中教審答申P49以降に記載されている次の項目を追加すべきです。中教審答申は重視すべきと思いますが、御見解をお願いします。①各校の存在意義、社会的役割等の明確化②各校の入口から出口までの教育活動の指針の策定③高等教育機関や地域社会等の関係機関と連携・協働した高度な学びの実現④スクールポリシーに基づく地域と協働した学校経営⑤スクールポリシーに基づく全授業の系統化と不断の見直し⑥地球温暖化など社会問題に積極的に取り組む学びの実現</p>	<p>新プランにおいては、スクールポリシーに基づく各校の魅力化・特色化を進めてまいります。</p>

<p>人口減少に対して私立学校も含めた高校の設置状況を踏まえた高校の適正配置の在り方について検討とあるが、6000名の生徒減少は20校以上の高校の存続に影響を及ぼす。また、減少傾向は既に始まっている。学校統廃合以外の明確な施策を示していただきたい。</p>	<p>学校の適正配置及び生徒募集定員の調整により進めてまいります。</p>
<p>改革の方向性（1）の従来の学校規模にとらわれない大規模な単位制高校の設置とあるが、大規模校とは、どういった学校なのか？また、現行の単位制高校がその特色を生かしているとは思えない。今後どのような施策を計画しているのか？具体的に記していただきたい。</p>	<p>今後、策定する実施プログラムにおいて示してまいります。</p>
<p>計画実施上の重点事項（2）に記載されている高校入学前に…生徒や教職員が小・中学校を訪問する…小・中学生が高校を訪問して…とあるが、こうした活動は公立高校への生徒の誘導・囲い込みにならないか？私学がこの様な活動を直接行うことは不可能である。何故、私学との協働の視点がないのか。これも“戦略的”的な広報活動の一環なのか。（同様の趣旨でほか1件）</p>	<p>専門科目や特色ある学びをとおして、小・中学校のキャリア教育を支援してまいります。</p>
<p>計画実施上の重点事項（3）学校間連携に記載されている、この取り組みに該当地域の私立学校も含むのか？</p>	<p>第3期千葉県教育振興基本計画を踏まえ、公立高校と私立学校との連携を推進してまいります。</p>
<p>人口の減少により今後10年間で中学校卒業者が6,200人減少するとなっているが、これは県全体で150学級程度の募集定員削減が必要となる。県として私立高校設立を要請した経緯、私立高校の統合や学校規模縮小が難しいことや、首都圏の公私比率とのバランスを考えると公立高校の大幅な定員減(6,000人程度)が必要となることを大前提とし、その元での特色ある改革推進プランであることを明記する。</p>	<p>御意見を踏まえ、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。</p>
<p>中学校卒業生数が10年後までに約6,200人の減少が見込まれています。少子化の影響が教育の低下を招かないよう公私が協調した対応を要望します。具体的には、公立高校は、適正規模・適正配置の方針に従った対応、私立高校は募集定員の厳守を要望します。特に私立高校の定員を超えた生徒確保は、郡部にある私学経営を圧迫するとともに定員超過による教員確保は講師に頼る学校運営が予想され、教育の低下につながります。私立高校には定員順守を強く要望します。</p>	
<p>基本的コンセプトは、令和3年1月26日付け中教審答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指してを踏まえており、時宜にかなった設定である。</p>	<p>御意見を踏まえ、新プランを推進してまいります。</p>
<p>教科横断的な学びや探求的な学びの推進は、令和4年度から学年進行で実施される新しい学習指導要領の趣旨に沿ったものでありぜひとも取り組むべき内容である。</p>	<p>御意見を踏まえ、新プランを推進してまいります。</p>

<p>スクールミッションの観点は的確である。</p>	<p>御意見を踏まえ、全ての県立高校の魅力化・特色化を推進してまいります。</p>
<p>第4学区から第9学区までのいわゆる郡部においては、学区制を廃止または緩和し、県内あるいは、国内どこからでも志願できるようにして、生徒を確保できるようにすべきではないか。</p>	<p>御意見も踏まえ、県内全域や全国からの受入れも含めた、柔軟な生徒募集の在り方について検討してまいります。</p>
<p>改革の方向性（8）に関して。 高校の適正配置について、都市部の高校を減らし、郡部の高校を増やすことはできないか。都市部から郡部へ生徒が移動することで生徒数確保や、将来の関係人口創出に貢献できないか。</p>	<p>県立高校の適正規模・適正配置については、今後、地域協議会を設置し、幅広く意見を伺いながら検討してまいります。</p>
<p>計画実施上の重点事項（3）に関して。 高校の単位制を活用し、他高校の授業を2単位程度取得することを義務化して、高校内で完結しない人間関係の構築や、単一高校のみでは得られない経験ができる環境を整え、生徒の成長を助長させると良いのではないか。</p>	<p>新プランにおいては、学校間の垣根を越えて連携し、各校の特色を生かした取組を拡充することにより、更に充実した学校間連携を推進してまいります。</p>
<p>改革の方向性（2）にも探究的な学びの推進が記載されているところではありますが、P12に魅力ある学校づくりの推進の普通科に関する中に、探究に関する文言が1つありません。普通科に変えて探究科というほど、国として取り組んでいるところであることも踏まえると、普通科の魅力ある学校づくりの取組に、探究に関する項目があるべきではないでしょうか。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>人口の減少について、私立学校も含めた高校の設置状況のところに市立学校も含めてほしい。</p>	<p>設置者である市教育委員会と連携・協力してまいります。</p>
<p>市立高校との話し合いも含めてほしい。通学バス（スクールバス）があるとありがたい。</p>	
<p>秋校は要らないのか。</p>	<p>秋季入学については、三部制定時制及び通信制高校で実施しております。また、新プランにおいては、生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を行う様々なタイプの学校づくりを進めることとしていきます。</p>
<p>机と椅子がバラバラになったものじゃなくて机と椅子がいっしょになっているものを用意してほしい。</p>	<p>生徒、職員が生き生きと活動できる教育環境の実現に向け、貴重な御意見として承ります。</p>
<p>二ツ穴のバインダー（これも海外ではよく使われる）が必要。</p>	
<p>制服は大正だったか生徒は和服、先生は洋装とバラバラだったので学服制が導入されたとも聞く。もうそろそろ鞆と帽子があればいいんじゃないか。</p>	<p>貴重な御意見として承ります。</p>
<p>部活動は、土曜日週1の午前中か平日週5で1日2時間程度にしてほしい。どちらか選べる。文化部は週2なら（土）にもできる。それで公認のコーチをつけてほしい。</p>	<p>いただいた御意見については、今後の施策を実施する際の参考とさせていただきます。</p>

<p>外国では卒業後に1年の専門学修校が備えられていることもある</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>「(2) 県立高等学校の課題」の項について郡部の小規模校で定員割れが続いている高校の教員が最も悩んでいることは、 (1)意欲の極端に低い生徒が入学し、授業が成り立ちにくくなっていること。 (2)特別支援系の手当てが必要な生徒が多いのに、適切に対応できるだけの教員配置がないこと。 (3)職業系専門学科において、必然性の低い生徒が入学してくること。 の3つだろう。 そう考えると、「案」では、現在の県立高校が抱えるかなり大きな課題について、正面から見据えた記述にはなっていないのではないか。確かに4ページの1行目から「高校生の学ぶ意欲～ますます多様化しており」という記述はあるが、いわゆる教育困難校の日々の苦勞が「多様化」の一言で括られてしまうのでは、困難校の教員の日々の苦勞を直視した上での表現とは言えない。もう少し現実を踏まえた表現、例えば職業系高校についてなら「必然性のない生徒が大勢入学することによって空洞化が発生し、学科の存在意義が根本から脅かされている」というぐらいの踏み込んだ記述が必要ではないか。</p>	<p>引き続き県立高校の課題解決に向けて取り組んでまいります。</p>
<p>「5 計画実施上の重点事項」の「(1) 全ての高校の魅力化と学びの改革」の項についてこの「案」全体にその傾向が強いように感じるが、特に、この項では、教育が経済活動の中に完全に組み込まれ、経済界に必要な「人材」を育成することが高校教育の使命だ、と言わんばかりの表現のように感じる。「高校の魅力化」は必要だろうが、魅力化と経済界の求めに応じるかのような人材育成への力点の置き方とは切り離して考える必要があると思う。</p>	<p>生徒が予測困難な社会においても、自分の良さや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓くことができるよう、人材育成に努めてまいります。</p>
<p>特に先行きが不透明なこの時代には教科横断的な探究的な学び、キャリア教育等はとても重要だと考え、「全ての高校の魅力化と学びの改革」や「キャリア教育と職業教育の推進」を重点項目に挙げられているのは大いに共感できます。ぜひ、同プランを進めていただき、生徒一人ひとりの笑顔のために実施していただければと考えます。</p>	<p>御意見を踏まえ、新プランを推進してまいります。</p>
<p>3 基本的コンセプト(目指すべき県立高等学校像) (1) (2) (3) (4)に(5)を追加して下記を加えること。 (意見) (5) 誰1人取り残さない教育を保障する学校 ○すべての生徒に同じ教育を受ける権利を保障し、人間形成の場としての学校づくりを進めます。</p>	<p>基本的コンセプト(3)及び改革の方向性(4)において、誰一人取り残さない教育を推進してまいります。</p>

<p>昨年3月の『公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律（以下「義務標準法」という）』の改正動向及び近年の「学校における働き方改革」について記述した上で、「I 計画の基本的な考え方」において、具体的な計画に反映するべきです。</p>	<p>今後も国の動向を注視してまいります。</p>
<p>「第3期千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」中の11に及ぶ施策の中でも、とりわけ「人間形成の場としての」学校（施策5）に着目して、唯一記載していることを評価します。</p>	<p>今後も生徒の人間形成の場としての役割を果たしてまいります。</p>
<p>案の内容に加えて、答申『はじめに』最後の、「これまでの日本の学校教育が担ってきた役割（学習機会と学力を保障するという役割のみならず、全人的な発達・成長を保障する役割、人と安全・安心につながるができる居場所としての福祉的な役割）の重要性は変わることなく、それを継承する」という部分も記載するべきです。</p>	<p>基本的コンセプト（1）及び改革の方向性（4）においてお示ししております。</p>
<p>（2）県立高等学校の課題 ア 生徒の多様なニーズへの対応4行目の「依然として」を削除する。</p>	<p>御意見を踏まえ、修正いたしました。</p>
<p>「ア」の生徒の多様なニーズへの対応、特に「日本語指導が必要な生徒の増加」と高校教育での「対応」の課題について具体的に触れるべきです。その際、「イ」の内容のうち5ページの円グラフや表の説明部分はもう少し整理した上で、2020年3月に策定された「千葉県多文化共生推進プラン」の「子どもの教育環境の整備【背景と取組の状況】」からの引用等をするべきと考えます。</p>	<p>本プランは、全ての県立高校の魅力化、特色化を進める視点から、今後、必要となる高校改革の施策を位置づけております。</p>
<p>「ア 生徒の多様なニーズへの対応」についても資料が必要です。特に、「困難を抱えた生徒」や「日本語指導が必要な生徒」の増加傾向がわかるグラフを、調査済みのデータを基に載せるべきです。</p>	
<p>求人数・就職者数は、本社地と就業地のどちらの数字であるのか明示するべきです。</p>	<p>求人票は本社（採用する会社）が所在する地域のハローワークに出すものであり、本社地か就業地かを判別することができません。</p>
<p>3 基本的コンセプト（2）の項目名及び本文について 項目名に「教職員」という文言の入っていることは勿論、本文最後にも「教職員も生きがいを感じ、」以下の表現のあることを評価します。</p>	<p>御意見を踏まえ、生徒・教職員が生き生きと活動できる学校づくりを進めてまいります。</p>
<p>3 基本的コンセプト（3）本文1つ目の○の中ほど、「郷土や国を理解し愛する心」は、「郷土や国の文化を理解し、多様な価値観を尊重する心」と修正するべきです。</p>	<p>新プランにおいては、第3期千葉県教育振興基本計画に基づき、「郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成」を推進してまいります。</p>
<p>4 改革の方向性（5）本文第2段落の「…教職員全体の教育力の向上を図る」を、「教職員増により教育力の向上を図ります。」と修正するべきです。</p>	<p>新プランを着実に実施し、生徒・教職員が生き生きと活動できる学校づくりを推進してまいります。</p>
<p>4 改革の方向性（6）の項目名については、基本的コンセプト（2）で「生き生きと」の範疇に入っていた教職員も含めるべきです。例えば、次のように修正するべきです。 「生徒が生き生きと学び、教職員も生き生きと働ける教育環境の整備」 「生徒も教職員も生き生きと学び、働ける教育環境の整備」など。</p>	

<p>5 計画実施上の重点事項 (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革 3段落1行目「…未来を担う人材の育成」の「人材」は「人間」と修正する。同3行目「…育成が求められる人材は…」の「人材」は「資質・能力」と修正する。また、同6～9行目 ①～④の「…人材の育成」の「人材」は「人間」と修正するべきです。</p>	<p>「人材」の記載については、国や本県の教育振興基本計画等にも使われていることから、本プランにおいても同様の記載としております。</p>
<p>(2) キャリア教育と職業教育の充実 第2段落1行目の「～将来の職業選択について考えることができるよう」を「～将来について考えることもできるよう」と削除・修正するべきです。</p>	<p>キャリア教育と職業教育の充実においては、早期から将来の職業について考える機会を設けることが重要であると考えております。</p>
<p>(3) 学校間連携、(4) 戦略的な広報については、教職員増の発想が必要です。</p>	<p>学校間連携については、コーディネーターの配置などにより、支援してまいります。また、戦略的な広報については、現場の教職員の負担にならないよう、支援してまいります。</p>
<p>国を挙げて学校の「働き方改革」に取り組む中、意味のある事業であっても、学校現場の負担増を招くことは必至です。従って、教職員増に踏み込むべきです。言及してください。</p>	
<p>策定される今回のプランを基にした、実施プログラムの対象か否かを問わず、「基本的コンセプト・改革の方向性」を実現するためには、教育予算の確保が欠かせません。そのためにも、貴委員会の尽力を願ってやみません。</p>	
<p>企業や地域が求めているものを高校でどのように学ぶのかを示すことが、小中学校の児童生徒の進路選択につながると考える。</p>	<p>いただいた御意見を十分踏まえ、新プランを推進してまいります。</p>
<p>「2 (1) 県立高等学校を取り巻く国等の状況」に「改正バリアフリー法施行」と「医療的ケア児支援法施行」に関する記述を追加すること。(同様の趣旨でほか1件)</p>	<p>御意見につきましては、今後、施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
<p>「基本的コンセプト」に下記の記述を追加すること。 (5) 学校のバリアフリー化を促進して誰もが安全・安心して学校生活することができ、地域の避難所等の役割もはたせるようにする。 (6) 高校進学を希望する全ての人への高校教育を実現する学校 (7) 医療的ケアの必要な生徒への対応 (8) 定時制及び三部制定時制高校の夜間部において、自校式給食提供の復活</p>	<p>御意見につきましては、今後、施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
<p>「4 改革の方向性(4)」に追加校舎のバリアフリー化を進める(同様の趣旨でほか1件)</p>	<p>県立高校のバリアフリー化については、平成29年11月に策定された「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき進めていくほか、車いすの利用等、校内の移動に支障がある生徒が在籍する学校については、階段昇降機の設置やエレベーターを整備するなどの対応をしているところです。</p>
<p>「(1) 県立高等学校を取り巻く国等の状況」に改正バリアフリー法に関する記述を下記のように追加すること。 高校においてもバリアフリー化による教育環境の整備を進める必要があります。</p>	
<p>「(2) 県立高等学校の課題」に下記記述を加えること。 バリアフリー化の促進 エレベーターを必要とする生徒が高校にエレベーターが設置されていないことで、希望する高校をあきらめることのないように、計画的にエレベーターを設置し校舎のバリアフリー化を進めていく必要があります。</p>	

<p>「3 基本的コンセプト（目指すべき県立高等学校像）」に下記を加えること。 (5) バリアフリー化を促進して誰もが安全に過ごせ、地域に役立つ学校 ○学校のバリアフリー化促進によって生徒の学校生活が安心・安全なものとなると同時に、地域連携や災害時の避難施設としての役割をはたし、地域の安心と安全に寄与する学校づくりを進めます。</p>	
<p>「5 計画実施上の重点事項（1）全ての高校の魅力化と学びの改革」の「スクールミッションの観点」に次の1点を追加すること。 ⑤多様性とバリアフリーの環境の中で学び、既存の価値観にとらわれずに自らと社会の未来を開く人材の育成</p>	
<p>いずれのページも【具体計画の方向性】の項目に下記を追加すること。 ○多様な人材に対応できるようバリアフリー化と授業のユニバーサル化を進めます。</p>	
<p>4 改革の方向性（4）に追加 定員内不合格をなくし、高校で教育を受けたい生徒にその機会を保障する（同様の趣旨でほか1件）</p>	<p>県立高等学校の入学者選抜については、実施要項に基づき、適切に実施しております。</p>
<p>「県立高等学校の課題」に下記を加えること 募集定員は県民への公約である。高校で学びたいと願う生徒を誰ひとり取り残すことなく教育を受けられるようにする。未来にはばたけるようにすべき。そのため少なくとも定員内での不合格は決して出してはいけないし、それが県民との公約実現となる。</p>	
<p>「（2）県立高等学校の課題」に下記記述を加えること。 定員が空いている場合は定員内での不合格者を出さずに、高校で学びたいと願う生徒が誰ひとり取り残されることなく高校の教育を受ける機会を得られるようにする必要があります。</p>	
<p>「3 基本的コンセプト（目指すべき県立高等学校像）」に下記を加えること。 (6) 誰ひとり取り残さない高校教育を実現する学校 ○入学者選抜において募集定員の空いている高校においては不合格者を出さずに、高校で学びたいと願う生徒が誰ひとり取り残されることなく高校の教育を受ける機会を得られるようにします。</p>	
<p>【具体計画の方向性】の項目に下記を追加すること。 ○高校教育のセーフティネットとして、定員内での受検生は全て受け入れて教育の機会を保障します。</p>	<p>県立高等学校の入学者選抜については、実施要項に基づき、適切に実施しております。</p>
<p>個々の生徒のニーズ調査は何度もきめ細かに行き、その都度進路の修正が効くような仕組みを整えて欲しい。</p>	<p>いただいた御意見を踏まえ、生徒の多様なニーズに対応した教育を実現してまいります。</p>
<p>「生徒が自ら学び考え、わかる・できる喜びを実感できるとともに、教職員も生きがいを感じ、自信と誇りや意欲を持って教育活動に当たる学校づくりを進めます。」という部分はとても良いので、ぜひこの考え方を中心にすすめて欲しい。</p>	<p>いただいた御意見を踏まえ、プランを着実に推進してまいります。</p>

<p>特に学校間連携や協働には大いに期待している。その子どもがどのような生育環境を経て高校生になったか、幼稚園・保育園から連続してきちんと引き継げる環境を整えて欲しい。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>適正配置を検討する際には、県立高校の近隣に私立高校があったとしても、経済的に私立高校は選べない家庭もあることを充分考慮して欲しい。</p>	<p>「教育を受ける機会の確保」の観点から、地理的条件や公共交通機関の状況、地域の抱える状況、学科の配置バランス等を踏まえ、慎重に検討を進めてまいります。</p>
<p>スクール・ミッションの4つの観点到に標榜された「人材」に自らは到達していない・到達できないと考えてしまう生徒はどうしたらいいのか。生きる希望を無くしてしまわないか心配である。</p>	<p>各学校において、生徒の自己肯定感を育み、きめ細かな指導を実践してまいります。</p>
<p>千葉県は、専門高校への進学率が非常に低く、中学校や保護者の理解も早い段階から進路を選択しなくてもよいという考え方があり。また、理数離れなど、「論理的な思考を重ね、将来の課題解決能力を育み、キャリアの発達」を促す必要性を感じる。</p>	<p>今後もキャリア教育の推進に努めてまいります。</p>
<p>【基本理念】について、PDCAで検証したか。 「ちばの教育の力で、「県民としての誇り」を高める！ことはできたか。 「人間の強み」を伸ばす！ことはできたか。 「世界とつながる人材」を育てる！ことはできたか。 【基本目標】について、PDCAで検証したか。 「1 ちばの教育の力で、志を持ち、未来を切り拓く、ちばの子供を育てる」ことはできたか。 「2 ちばの教育の力で、「自信」と「安心」を育む学校をつくる」ことはできたか。 「3 ちばの教育の力で、家庭と地域の絆きずなを深め、全ての人が活躍できる環境を整える」ことはできたか。 「4 ちばの教育の力で、世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る」ことはできたか。</p>	<p>第3期千葉県教育振興基本計画については、「教育委員会の事務の点検評価」において、毎年、その進捗状況を評価しております。</p>
<p>「千葉県地方創生総合戦略（平成27年度～令和元年度）」「〔第2期千葉県地方創生総合戦略（令和2年度～令和6年度）骨子案〕、特に」「千葉県における人口の状況と将来展望（人口ビジョン）」との整合性はどうか。</p>	<p>全国的な少子化を背景として、本県において生産年齢人口及び年少人口は中長期的に減少することが見込まれています。本プランにおいても中学校卒業生数の今後の減少を踏まえ、高校再編について検討しております。</p>
<p>令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果をどのように検討し教訓化しているのか、その結果として、今回のプランが策定されているのか。ハッキリしていない。</p>	<p>本プランでは、様々な配慮を必要とする生徒に対する個々に応じたきめ細かな支援の推進について検討することとしております。</p>
<p>「SDGs」という言葉が、見当たらないが、どうなっているのか。SDGsは「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されているが、これを千葉県の高専教育にどのように具体化していくか、プランには全く明記されていない。</p>	<p>本プランは、SDGsの目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保」することに資するものと考えております。</p>

<p>「はじめに」9行目 「地域とともに発展する開かれた学校づくり」の「とともに発展する」は削除して、「地域に開かれた学校づくり」、または「地域と連携した学校づくり」と修正してほしい。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>「はじめに」11行目 「我が国に在籍する外国人…」は「日本で暮らす外国人…」または「日本に在留する外国人…」に修正してほしい。 <理由1> 「在籍」は学校の児童生徒について使用する。</p>	<p>御意見を踏まえ、「我が国に居住する外国人の増加等を背景に」と修正いたしました。</p>
<p>「はじめに」22行目 「…検討を始めました。」を「…検討を行ってきました。」に修正してほしい。</p>	<p>御意見も踏まえ、時点修正を行いました。</p>
<p>「はじめに」31行目 「…推進するとともに、高校が小中学校のキャリア教育を支援し、職業系専門学科への理解を深めていくこととしています。」の下線部は削除してほしい。</p>	<p>魅力ある県立高校づくりにおいては、県立高校の、特に職業系専門学校に対する小・中学生やその保護者への理解を深めることは重要であると考えております。</p>
<p>P1 I-1 (1) 計画の趣旨 の枠内の内容（基本理念と基本目標）は高校教育改革の計画には直接関係ないので、削除してほしい。</p>	<p>本プランは、第3期千葉県教育基本計画の基本理念と基本目標を踏まえて策定しております。</p>
<p>P1 8行目 「実施する主な取組」として6点が示されているが、第3期千葉県教育振興基本計画では10点挙げられている。このうち以下の4点が記載されていないのはなぜか。 ○地域学校協働本部の推進 ○「学校を核とした県内1000か所ミニ集会」の充実 ○地域住民・保護者の県立学校運営への参画の推進 ○コミュニティ・スクールの導入促進</p>	<p>第3期千葉県教育振興基本計画で上げている10点の取組のうち、特に高校改革に関連するものとしてお示していることを踏まえ、本文に「高校改革に特に関連するものとして、」を追記いたしました。</p>
<p>P2 (2) 計画の目標年次 の「令和4年」、「令和13年」は、それぞれ2022(令和4)年、2031(令和13)年と修正してください。以下同様、西暦表記にしてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「令和4年度(2022年度)」「令和13年度(2031年度)」と修正いたしました。</p>
<p>P4 (2)-ア 3行目 「…取り組む生徒がいる一方、経済雇用…」の文を二つの文に分け、以下のように修正してほしい。 (修正後) 「…取り組む生徒がいる一方、意欲的に取り組めない生徒も多くいます。また、経済雇用…」</p>	<p>御意見を踏まえ、「…取り組む生徒がいる一方、目的意識を持たず意欲的に学習に取り組めない生徒も少なくありません。また、経済雇用…」と修正いたしました。</p>
<p>P4 (2)-ア 8行目 「…幅広い科目を選択できる…」の下線部を「…多様な科目から選択できる」と修正してほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「…進路希望等に応じた多様な科目選択が可能となる」と修正いたしました。</p>
<p>P4 (2)-イ 9～12行 「令和2年…下回っています。」は削除してほしい。</p>	<p>該当箇所は、県立高等学校卒業後の進路状況を踏まえたキャリア教育の方向性を示すものとして、記載したものです。</p>
<p>P6 (2)-ウ 人口の減少 は 人口の減少と地域の状況、または 人口の減少と多様な地域性と修正してほしい。</p>	<p>「人口の減少」については、全県的な課題であると考えております。</p>
<p>P6 (2)-ウ 6行目「少子化に伴う」、13行目「少子化や」は削除してほしい。</p>	
<p>P8 3-(1) 3つめの○の1～2行目 「…社会的・職業的に自立…」の職業的は経済的と修正し、「…社会的・経済的に自立…」と修正してほしい。</p>	<p>中教審答申においても、社会的・職業的な自立は課題として掲げられているものと認識しております。</p>

<p>P 8 3-(4) 「身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、地域とともに発展する学校」は意味不明である。現行の改革推進プランの「地域の人が集い、地域に愛され、地域とともに歩む学校」のほうが基本的コンセプトとして適切と考える。「地域の人が集い、地域に愛され、地域とともに歩む学校」に修正してほしい。</p>	<p>御意見につきましては、今後、施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
<p>P 9 4-(1) 3～4行目 文中の「従来の学校規模にとらわれない大規模な単位制高校の設置」は削除し、「単位制の特色を活かした高校づくり」に修正してほしい。</p>	<p>御意見につきましては、今後、施策を検討していく上での参考とさせていただきます。</p>
<p>普通科</p>	
<p>中教審答申P52のとおり「(1) 普通科」は「(1) 普通科改革」に変更する。</p>	<p>当冊子の構成上、「〇〇科」という文言で統一しております。</p>
<p>各校の取組を可視化し情報発信を強化するため、魅力ある名称(愛称)を検討する。</p>	<p>いただいた御意見は、今後の高校再編に向けた参考とさせていただきます。</p>
<p>中教審答申の重点項目である「普通科におけるキャリア教育の充実」を掲載しないのですか。</p>	<p>「キャリア教育の充実」は、計画実施上の重点事項としてP10に掲載しております。</p>
<p>学習意欲の向上、自己肯定感の醸成、将来を見通した個別最適な学びを掲載しないのですか。</p>	<p>P 4 (2) 県立高等学校の課題アの部分に生徒の多様なニーズへの対応という形で同趣旨の内容を掲載しております。</p>
<p>中教審答申P53「コーディネーターの配置検討」を載せないのですか。 「連絡調整を行う職員の配置」は「コーディネーターの配置」に変更すべきです。(中教審答申P53)</p>	<p>P 9 4改革の方向性(7)において、コーディネーターの配置について記載しております。</p>
<p>関係機関及び関係団体との、連絡調整を行う職員の配置はとても有効である。教職員の働き方改革を進める上でも、スクールミッションを実現する上でも不可欠であり、配置すべきである。</p>	<p>いただいた御意見を参考に今後の高校再編に生かしてまいります。</p>
<p>「普通科を主とする学科」は「各校が特色化・魅力化を推進する学科例」に変更すべきです。</p>	<p>高等学校設置基準(平成16年文部科学省令第20号)を踏まえ、「普通教育を主とする学科」としています。</p>
<p>次を追加すべきです。 ・学校間で連携し、在籍校にとらわれない幅広い学習の機会を提供します。 ・地域企業等と連携し、生徒のキャリア教育を推進します。 ・著名OBや地域の人々等の力を借り、様々な生き方や体験を学ぶ機会を推進します。</p>	<p>いただいた御意見を参考に今後の高校再編に生かしてまいります。</p>
<p>普通科から多様な学習ニーズに対応できる総合学科への転換は有効である。</p>	<p>御意見を踏まえ、今後の高校再編を進めてまいります。</p>
<p>千葉県の普通科では、コースを設置して普通科の特色づくりを進めてきました。特に、本県において人材不足になっている教員、保育といったコースは、今後も積極的に進めることを要望します。</p>	<p>御意見を踏まえ、今後も、コース設置校の拡充などについて検討してまいります。</p>
<p>教員志望者確保に向けた施策は、別途全県域を対象として実施すべきと考える。</p>	
<p>普通科の特色化、魅力化について、これまでの地域や社会のニーズに対応したコースとして「教員基礎コース」「保育基礎コース」「医療系コース」の設置を高く評価している。次期プランでもより積極的な取組を期待する。</p>	
<p>コースを設置する際は、地域のニーズを把握してほしい。</p>	

<p>教員基礎コースの充実が本県の教員希望者増加につながるとは考えられない。 ぜひ、日本の教育の抱える深刻な問題にも向き合う気概を持った生徒を育ててほしい。</p>	<p>いただいた御意見を参考にしながら今後の高校再編を進めてまいります。</p>
<p>教員免許は大学でしか取得できないのに「教員基礎コース」と称することに違和感がある。 「教員基礎コース」が設置されてから10年近く経過するにも関わらず、教員採用選考志願倍率が全国平均を大きく下回っていることは、コース設置の効果が出ていないと判断せざるを得ない。コースを廃止するか、「教育学部受験対策コース」とすべきではないか。 教員採用選考志願倍率を上昇させることが目的ならば、教員の待遇改善を図るべきであって、このようなコースで「やりがい搾取」を肯定するべきではない。</p>	
<p>コース設置校の拡充だけではなく、広く教育に関する講座を、年間を通じて開設する事業等を推進していくというような文書はどうでしょうか。</p>	
<p>「人材」を「人物・人間・担い手」等に修正するべきです。（同様の趣旨でほか1件）</p>	<p>「人材」の記載については、国や本県の教育振興基本計画等にも同様の趣旨で使われております。</p>
<p>現在進学指導重点校である安房高校は、単位制を導入しているものの、その魅力や特色についての理解が不十分であると思われる。</p>	<p>各校の魅力が小・中学生やその保護者により広く伝わるよう「戦略的な広報」に努めてまいります。</p>
<p>安房高校に特別進学クラスを設置することにより、有名国公立大学や難関私立大学への進学実績向上に向けた特色ある教育を実施してほしい。</p>	<p>いただいた御意見を参考にしながら、今後の高校再編を進めてまいります。</p>
<p>理数科</p>	
<p>理数教育は今後の国の経済の盛衰を握ります。「全校で理数教育の充実に努める」旨の観点で、詳しく施策を記載すべきです。</p>	<p>御意見を参考にしながら、今後の理数教育の充実に努めてまいります。</p>
<p>「理数科」を「理数情報科」とし、各地域の情報教育の拠点としてはどうですか。</p>	
<p>体育科、芸術科</p>	
<p>他の科と比較して「社会の役に立っていない」かのような書きぶりになっているのが気になる。もう少し芸術が社会の中で重要な役割を果たしている事を語って欲しい。</p>	<p>御意見を踏まえ、以下の文章を追記いたしました。 【体育科】 これらの学校での教育内容の充実に図り、引き続き、本県スポーツの振興や県民の健康の保持・増進に貢献できる人材を育成していきます。 【芸術科】 これらの学科や系列、コースを設置している高校が中心となり、教育内容や情報発信の充実に図るとともに、将来の本県芸術文化の振興や、創造的かつ持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成していきます。</p>
<p>農業科</p>	
<p>前プランの専門系学科・コースの「具体計画の方向性」は実現できていません。なぜ前プラン「具体計画の方向性」の達成度の評価をしなかったのですか。</p>	<p>具体計画の方向につきましては、生徒や社会のニーズに応じて、実施プログラムとして実現してまいりました。また、達成度については再編校の評価をとおして検証してまいります。</p>

なぜ「在籍校・在籍学科を越えた、地域での幅広い学習機会の実現」を載せないのですか。	P10 5計画実施上の重点事項(3)に記載しております。
なぜ中教審答申の「専門学科改革」の一部しか載せないのですか。	中央教育審議会答申のうち、特に関連性の高いと思われる事項について記載しております。
前プランの「ネットワークを構築し(中略)県全体の農業教育の底上げを図ります」「担い手育成」「6次産業化」の進捗状況を記載してください。	P17に記載したとおり、農業関係高校人材育成組織「アグリサポーターズちば」を設置し、農業教育の充実に向けた活動を推進しております。
「6次産業化」は大変重要です。なぜ他の職業学科、特に要の商業科に再掲しないのですか。	貴重な御意見として承り、今後の高校再編に向けた参考とさせていただきます。
学習指導要領に倣った表現なのだろうが、「農業の見方」という表現が日本語として適切かどうか疑問に感じる。「○○の見方・考え方」という表現は一般に通用するものとは思えない。	御指摘の記載については、高等学校学習指導要領を引用したものです。
6次産業化は足し算(1+2+3)ではなくて掛け算(1×2×3)だと認識していたが、どちらが正しいのか?(同様の趣旨で他1件)	御意見を踏まえ、修正いたしました。
市場との関連を取り入れていただき、第一次産業の重要性をしっかりと受け止めて勉学に励んでいただく、それには行政との協力も必要と感じます。	農業関係高校人材育成組織「アグリサポーターズちば」を通じて、農業関係の行政機関との連携を進めてまいります。
「・・・教育の推進に留意し、・・・」という弱い表現を「・・・教育を積極的に推進し、・・・」と変更する。	御意見の主旨を踏まえ、「教育を具現化するため」と修正いたしました。
現在の学校農場における老朽化した施設・設備の更新を積極的に行い、魅力ある学校農場にしていくという強い意志を示す。	御意見を参考にしながら、生徒が生き生きと学ぶことができる教育環境の整備を進めてまいります。
「ペット産業が拡大する中、幅広い動物の飼育について学べる学科への再構成など、時代のニーズを踏まえた新たなコースの設置や学びの導入を検討します。」について「農業教育に関して時代のニーズを踏まえた学び内容や新たなコースを検討します。」とし、また、文中の「担い手」の表現を「農業経営者」としてはどうか。	御意見を踏まえ、「例えば、近年の農業構造の変化に対応できる農業経営者の育成や、幅広い動物の飼育に関する学びなど、時代のニーズを踏まえた新たなコース設置や学びの導入を検討します。」と修正いたしました。
「農業経営者」育成の推進について、触れていただきたい。 ＜理由＞ Society5.0の世の中にあっても、農業は国の基(もと)と考えます。SDGs、食料安全保障の観点からも、また世界的な視野をもった、マーケティングにも明るい「農業経営者」の育成こそ、日本の将来を明るくするものと考えます。単に「人材」「担い手」「就農者」ではなく、「農業経営者」育成の推進の文言を入れていただきたい。	
ペット産業に対応した学科の設置については難しい面があると思います。 ＜理由＞学習指導要領との整合性が難しく感じます。また、当該学科を卒業した生徒の進路の受け皿についても、課題があります。	
キャリア教育・食育・生涯学習の視点で農業教育を捉え、地域のセンター的役割を担うことを明記する。	御意見を踏まえ、「地域のキャリア教育・食育・生涯学習の拠点となり」と修正いたしました。
農業関係高校人材育成組織「アグリサポーターズちば」について、更なる内容の充実を期待します。	いただいた御意見を参考にしながら今後の高校再編を進めてまいります。

工業科	
工業教育の拠点校が工業教育の推進に果たす役割とはなにか。	工業教育の拠点校では、最先端の工業教育の手法について、研究・開発を一層推進するとともに、県全体で共有する仕組みを構築する役割を担っております。
なぜ工業科では、定員が充足されていないことが記述されているのか。	御指摘の記載については、工業科の現状を示す情報の一つとしてお示ししております。
定員が充足されていない現状に対し、県がどのように方策をとるのか、県が何を課題と考えるのかを書くべきではないか。	工業教育の理解を深めるため、工業教育を中心として、小・中学校のキャリア教育を支援したり、積極的広報を展開することとしております。
前プランの各学科で掲げた「コンソーシアム」が十分に機能していない理由を分析し、反省に立って新プランの記述を考えるべきではないか。	時代の変化に対応することができるよう、コンソーシアムの一層の充実を図ってまいります。
工業科におけるSTEAM教育（STEM教育）の推進について、触れてはどうか。	STEAM教育については、令和3年1月の中央教育審議会（答申）も踏まえ、高等学校における総合的な探究の時間を中心として取り組むことが望ましいと考えております。
前プランの「積極的かつ効果的な広報活動に取り組み(略)」の進捗状況を記載してください。	前プランの進捗状況につきましては、再編の実施年度から3年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価しております。
商業科	
前プランの「ICTの急速な進展等に対応した教育内容の充実」「地域産業等との連携」「他学科との連携」の進捗状況を記載してください。	いただいた御意見は、県立学校改革推進プランに係る評価（平成30年度再編実施分）により、前（現行）プランの実施状況及び成果や課題について取りまとめ、県教育委員会HPで公表しております。
商業科は、伝統の学びの充実に加え、「人工知能、インターネット、ビッグデータなど激変する社会・技術・産業界に対応する学びに変化する」などと記載すべきです。	具体計画の方向の3項目目において、御意見と同趣旨の内容についてお示ししております。
具体計画の方向の1つ目に大学や専門学校等の連携をあげていますが、この方向には賛同します。	御意見を踏まえ、大学や専門学校等との連携を推進してまいります。
この連携を実現するためには大学や専門学校と距離が近い立地環境を持つ学校が有効となります。そこで、大学や専門学校が多く立地している都市部に商業科を設置し連携モデル校として指定することで、具体計画の実現性は高まることから都市部に商業科を設置することを要望します。	いただいた御意見については、既設の商業科拠点校の取組を充実させるとともに、具体計画の方向の2項目目の実施状況及び中学生や保護者のニーズや既設の商業科設置校の募集状況を踏まえながら、検討してまいります。
具体計画の方向の2つ目に「普通科において、商業に関する学びの導入を検討します」をあげていますが、この場合、コースや2単位程度の学びの設置を想定していると思われます。コースや学びの設置では、教員の増員配置の措置がないため、学校の魅力づくりに大きな効果が期待できません。そこで、進路多様校に総合学科を設置して、農工商といった職業系の学びを導入することの検討を要望します。	
商業科では、高校卒業後に大学や専門学校に進学する生徒が増える中、進学後にさらに高度な領域を学ぶためにも、「理論的な学び」の姿勢が大切です。また、「深い学び・高度な知識や技能の習得」には、「理論的な学び」がベースとなります。この点から、実践的・体験的な学習とともに、「理論的な学び」の明記を検討することをお願いします。	いただいた御意見については、令和4年度から段階的に実施される新学習指導要領や、令和3年1月に示された中央教育審議会（答申）を踏まえ、全ての高校の魅力化と学びの改革として捉えるものであり、本プランの基本的コンセプト及び改革の方向性において同趣旨の内容をお示ししております。

<p>簿記は、商業科の中心的な学習で取得できる資格であり、かつ一般的に就職活動の際最も役に立つ資格といわれているため、商業科における資格取得に関し、簿記も入れていただきたい。</p>	<p>簿記については、商業科における学習において、基礎・基本の充実に資するものと考えております。</p>
<p>具体計画の4つ目に「他の職業系専門学科との連携を推進し、互いに専門性を生かし合い、企画、生産から加工・流通・販売まで協働的な学習を推進します。」とあるが、商業科を中心とした職業系専門学科間の連携を実施可能なものにするため、他の職業系専門学科の具体計画の方向にも、同様の内容を示してほしい。</p>	<p>学科間連携につきましては、農業科や総合技術高校の項目において同様の主旨の内容をお示ししております。</p>
<p>水産科</p>	
<p>前プランの「水産業及び海洋関係産業の発展を支える人材を育成」の進捗業況はどうか。</p>	<p>前プランの進捗状況につきましては、再編の実施年度から3年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら評価しております。</p>
<p>柔軟な生徒募集は、水産科の志願倍率向上に寄与すると思う。ぜひとも進め方がよいと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、県内全域や全国からの生徒の受入れも含めた柔軟な生徒募集について検討してまいります。</p>
<p>海洋系の学科へ進学を希望する県北や県外の生徒が、館山総合高校海洋科に通えるよう、受験条件の緩和や寮の整備等を実施してほしい。</p>	<p>御意見も踏まえ、高校と地域、企業、高等教育機関等との連携を推進してまいります。</p>
<p>地域の声も重要であり、連携の強化は大事だと考える。「地元漁業協同組合・企業、大学・研究機関、行政機関等との連携を強化」とあるが、地域（水産関係だけでなく、地域住民など）との連携も強化してほしい。</p>	<p>御意見も踏まえ、高校と地域、企業、高等教育機関等との連携を推進してまいります。</p>
<p>地球温暖化により、海洋環境も大きく変化している。その中で、陸上での栽培漁業も今後増えていくことが予想される。実際、木更津市で鮭の養殖が行われている。「幅広い水産教育の充実」は、大事だと考えます。</p>	<p>今後の海洋環境や水産関連産業の変化にも対応できるよう、海洋関連産業全般を捉えた幅広い水産教育の充実を図ってまいります。</p>
<p>「海技従事者の養成」は、是非進めてほしい。</p>	<p>本県の基幹産業を支える水産業や海運業に必要な海技従事者の養成に向け、実習船の活用と専攻科との連携を強化してまいります。</p>
<p>「実習船の活用」について、実習船の無い海洋教育はあり得ない。是非、実習船を活用した学びは続けてほしい。</p>	<p>御意見を十分に踏まえ、水産教育の推進を図ってまいります。</p>
<p>指導する先生の質の向上と、先生の人数の確保が大事ではないかと考えます。</p>	<p>水産教育への理解を深めるために、小・中学校等と相互に交流し、海洋に対する興味・関心を高めるなど、積極的な広報を展開してまいります。</p>
<p>「小・中学校等と相互に交流」について、早い時期から、水産について触れたり、学んだりすることは必要だと思います。是非、小・中学校の子供たちと高校生が交流する機会を増やしてほしい。</p>	<p>海洋科単独校の設置も含めた、県内各地域における今後の県立高校の在り方については、地域協議会を設置し、幅広い視点から意見を伺いながら、慎重に検討してまいります。</p>
<p>中学校の先生にも、高校について学ぶ場を設けてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、県内全域や全国からの生徒の受入れも含めた柔軟な生徒募集について検討してまいります。</p>
<p>生徒が海洋について総合的に学んだり、進学して更に専門性を深めるなど、多様な希望に応えるため、県内2校に設置されている海洋科を統合し、多様で選択可能な科目を設置するなど、全国に誇れる海洋科単独の高校を県央部へ設置することを要望します。</p>	<p>御意見を踏まえ、県内全域や全国からの生徒の受入れも含めた柔軟な生徒募集について検討してまいります。</p>
<p>海洋教育の重要性に鑑み、早期に既存の施設を活用し、全国募集を検討してほしい。</p>	<p>千葉県でも同様に全国から生徒を募集すべきではないか。子供たちの学びたいという意欲を大切にしてほしい。</p>
<p>千葉県でも同様に全国から生徒を募集すべきではないか。子供たちの学びたいという意欲を大切にほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、県内全域や全国からの生徒の受入れも含めた柔軟な生徒募集について検討してまいります。</p>

福祉科	
既に実績を上げている高校もあると思うが、現状では収入という点で必ずしも十分な労働対価を得ているとは言えない可能性の高い福祉系の職業選択につながるコース、学科の増設は避けたほうがよい。	福祉系分野の担い手不足は深刻であることから、待遇面の改善を要望しつつ、担い手の育成に努めてまいります。
情報科	
インターネットから必要な情報を集め本などの情報と比較分析し情報を取捨選択する力などは、これからの時代を生きる全生徒必須の情報技術です。全校全生徒の情報教育推進計画策定を記載すべきではないか。	御意見を参考にしながら、今後の情報科教育の充実に努めてまいります。
現在全国的に不足しているIT人材を地域で育成し、輩出するための教育環境を整えてほしい。	生徒の志願状況や既に情報科を設置した2校の実態を踏まえ、必要に応じて、情報に関する新たな学科、コースの設置等について検討してまいります。
家庭科、看護科	
「資質」は生まれ持った性質であり、あとから育成はできないと思うので、書き方を変更すべき。	御指摘の記載については、高等学校学習指導要領を引用したものです。
「(7)家庭科、看護科」の項について、学習指導要領の各科目の「目標」の表現に倣った記述をしているのだろうが、いくら専門学科としての家庭科だとしても、説明の冒頭にある「家庭科は、家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ」の表現からは、家庭科までもが経済振興の歯車の1つになってしまったのかという残念な印象を受けた。経済活動とは直接関係のない家庭科の専門的教育もあるのではないか。	御意見を参考にしながら、今後の家庭科教育の充実に努めてまいります。
総合学科	
総合学科の良さが中学生やその保護者、中学校に十分伝わっているか不明であるので、そのメリットを、高校のみならず、教育委員会からも中学校や保護者に積極的に発信してほしい。	御意見を踏まえ、中学校やその保護者などに対して総合学科の魅力を効果的に発信してまいります。
高校入学時にはなかなか将来の職業までを見通した展望が持てないことから専門学科離れと普通科への偏重が進んでいるのだと考える。総合学科の仕組みを活用した専門学科の学びのニーズに応えるような高校の設置を期待する。専門学科レベルの学びを保証するとすれば必要な施設・設備のことを考慮すると、複数のキャンパスを持つ大規模な高校の設置も視野に入れる必要があると思う。	御意見を十分に踏まえ、魅力ある県立高校づくりを進めてまいります。
単位制高校	
県有施設の「長寿命化計画」は待ち期間が長く、順番を待っている間の高校の生徒は見捨てるといえることですか。詳細にお教えてください。	御意見を参考にしながら、教育環境の整備に努めてまいります。
限られた財源の中、今存在する高校の環境整備、学びの改革実現を優先すべきではないですか。	
大規模単位制高校とは、第2の幕張総合高校ですか。なぜこの学校が必要かを記載してください。	多様な選択科目の設定により、進路希望や興味・関心に応じた学習が可能となる単位制高校をより大規模にすることで、生徒の多様な学習ニーズに更に応えることが可能になると考えております。
幕張総合高校の総経費（幕張3校の解体費を含む）は、いくらかかったのですか。	
なぜ大規模単位制高校は、適正規模の上限である1学年8学級を超えてもよいのですか。	

<p>【具体計画の方向】に「新たに大規模単位制高校の設置について検討します」とあるが、「既存の学校の統合等により新たに大規模単位制高校の設置について検討します」と下線部を加える。</p>	<p>御意見を参考にしながら、単位制高校の新たな設置について検討してまいります。</p>
<p>大規模単位制高校の設置は活力があり特色ある学校づくりの上でよいと思う。幕張総合高校の設置がそうであったように、校舎や施設設備を整え魅力あるものとしたほうがよい。（同様の趣旨でほか1件）</p>	
<p>進学指導重点校に単位制を導入することは、生徒の進路希望や興味関心にこたえられるため好ましい。</p>	<p>多様な選択科目の設定により、進路希望や興味・関心に応じた学習が可能となる単位制高校について更なる充実を図ってまいります。</p>
<p>中高一貫教育校</p>	
<p>現行の中高一貫教育校のあり方や新設計画などを具体的に記していただきたい。</p>	<p>中高一貫教育校につきましては、これまでの成果と課題を検証していくとともに、国の施策や他県の状況を注視しつつ、県内の地域の状況も踏まえ、引き続き研究してまいります。</p>
<p>今の中高一貫教育校では、学力上位層の生徒のみに利点があることから、その設置は慎重にあるべきであり、特に郡部では地元の公立中学校の死活する可能性があることから設置しないように強く要望する。</p>	
<p>中高一貫教育校については地域のニーズ等との慎重な検討が必要だと思う。特に、連携型中高一貫教育校については、これまでの成果と課題を踏まえ、存続を含めて検討が必要だと考える。</p>	
<p>現在県北のみにある中高一貫校を安房地域に設置する可能性についても検討してほしい。</p>	
<p>地元との連携を意識した高校教育を考えると、中学と高校の一貫教育が望ましい。いくつかの中学校からは高校に入学できるというような中高一貫教育校の設置を検討してほしい。</p>	
<p>「教育立県千葉の視点に立って、県立中等教育学校（6年制）の配置を検討していきます」を挿入してもらいたい。</p>	
<p>観光・環境・防災に関する教育</p>	
<p>「学びの成果について、全県立高校において共有し、積極的に活用する仕組みについて研究します」とあるが、「研究」は消極的である。「実施」と記載しないのはなぜか。</p>	<p>学びの成果を共有、活用する各県立高校の独自性を尊重した仕組みを構築する必要性に鑑み、「研究」と記載しております。</p>
<p>「自助」として自分の命を守り、「共助」として地域住民との間で助け合うことが非常に大事になる。「地域との連携を更に深める体制づくり」としては、自治会や町内会への参加など、地域活動に貢献することが明るい未来に繋がり、「共助」の大切さを知る一番の機会となる。</p>	<p>御意見を踏まえ、防災教育の更なる推進に取り組んでまいります。</p>
<p>地域連携アクティブスクール</p>	
<p>具体計画の方向（4項目目） 「既設の4校に加え、更に4校程度を地域連携アクティブスクールに変換します」としてはどうか。</p>	<p>御指摘の記載につきましては、いただいた御意見と主旨が変わらないことから、案のとおりとさせていただきます。</p>
<p>具体計画の方向（2項目目） 学びのセーフティネットの役割を担うならば、相応の支援体制が必要である。既存の4校が生徒に寄り添った充実した指導ができるよう、教育委員会の支援を得られるようにしてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、教育相談体制の充実を図ってまいります。</p>

<p>具体計画の方向（４項目目） 自立した社会人を育てる地域連携アクティブスクールの設置は、人口減少に向かう社会において大変大きな意義を持つ。一人前の社会人、言い換えれば一人前の納税者を育てる取組を、実効性のあるものにするため、既設校も含め十分な支援が必要と考える。</p>	<p>御意見を踏まえ、自立した社会人の育成に向けたきめ細かな指導を、より一層実践してまいります。</p>
<p>10月に公表された令和2年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導の調査によると、不登校生徒は約5,160人とあり、中学校で思うように能力を発揮できない生徒は多くいるにもかかわらず、現在のところ地域連携アクティブスクールは4校しか設置されていない。中学校ではできなかったが、高校で頑張ろうとする生徒を救うためにも今後もさらなる設置を強く望む。</p>	<p>御意見や地域バランス、生徒や保護者のニーズを踏まえ、新たな設置について検討してまいります。</p>
<p>地域連携アクティブスクールは、学び直しの機会を保障する仕組みとして絶対に必要な学校だと考える。各学区への設置を期待する。</p>	
<p>アクティブスクールを選ぶ子どもは、自立は目指しても期待に応えることまで背負う必要はない。「地域の期待に応える」を削除して欲しい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「地域の期待に応える」から「地域とともに歩む」へと修正いたしました。</p>
<p>定時制高校</p>	
<p>なぜ中教審答申P55「専門スタッフの充実と関係機関との連携強化」を載せないのか。</p>	<p>御意見を参考にしながら、専門スタッフによる支援体制の充実や就労支援機関との連携を進めてまいります。</p>
<p>具体計画の方向（3項目目） 定時制設置の経緯はあると思うが、時代の推移とともに定時制の果たす役割が変わってきており、夜間に限らない新しい形態の定時制高校があったほうが、志願者のニーズにこたえられる。是非とも進めたほうがよい。</p>	<p>御意見を踏まえ、多様な生活スタイルに対応した弾力的な学びの提供について検討してまいります。</p>
<p>【具体計画の方向性】の項目に追加 ○定時制及び三部定時夜間部の生徒の生命を支えるため、自校式給食の復活をする。（同様の趣旨でほか2件）</p>	<p>夜間定時制高校においては、現在、希望すれば高校生の栄養面に配慮した食事を注文できるような体制を整えております。</p>
<p>日本語を母語としないが学習能力の高い生徒が、選択できる高校の幅を拡げる取り組みを早急にしていただきたい。</p>	<p>新プランにおいては、様々な配慮を必要とする生徒に対する個々に応じたきめ細かな支援を推進してまいります。</p>
<p>P34 Ⅲ-1【具体計画の方向】の下から二つ目の○「定時制高校については」の後に「生徒の学びを保障し」を追加し、また、「多様な」、「十分」を追加し、次のように修正してほしい。 「定時制高校については、生徒の学びを保障し、生徒・保護者及び地域の多様なニーズ、地域バランス等を十分考慮し、配置の在り方について検討します。」</p>	<p>御意見を踏まえ、「定時制高校については、学びの機会を保障するとともに、生徒・保護者及び地域のニーズ、地域バランス等を考慮し、配置の在り方について検討します。」と修正いたしました。</p>
<p>通信制高校</p>	
<p>千葉大宮高校のスクーリングが館山総合高校定時制でできる通信制協力校について、周知先を行政の福祉部局や支援団体、福祉団体へ広げ、県立通信制という選択肢を必要な世帯に届けられるように効果的な周知を図ってほしい。</p>	<p>中学校及び市町教育委員会へ直接訪問し、制度の説明や千葉大宮高校に在籍している生徒の学習状況について情報交換を行うなど、引き続き、通信制協力校制度の周知を図ってまいります。</p>
<p>具体計画の方向、2つ目の○の内容を評価します。千葉大宮高校の教職員が館山総合高校に出張して行う方式は取らないということを併せて確認してください。</p>	<p>御意見も踏まえ、通信制協力校制度の更なる充実を進めてまいります。</p>

県立高校の適正規模・適正配置	
地域協議会を設置し、幅広い視点から意見を伺い、十分に議論を重ね、検討いただきたい。 (同様の趣旨でほか7件)	<p>県立高校の適正規模・適正配置については、生徒や保護者のニーズを踏まえ、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から成る地域協議会などにおいて意見を伺うとともに、地元自治体と充分協議するなど、慎重に検討してまいります。</p> <p>また、「教育を受ける機会の確保」の観点から、地理的条件や公共交通機関の状況、学科の配置バランス等を踏まえ、生徒にとってより良い高校の在り方について、慎重に検討してまいります。</p> <p>なお、県立高校の学級編制については、「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」を踏まえ、一学級当たり40人を標準としております。</p> <p>地域、企業、高等教育機関などが相互に連携・協働しながら、県立高校の魅力化・特色化を進めてまいります。</p>
適正規模、適正配置については慎重に議論を重ねていく必要があるべき。しっかりとした説明を加え、理解を頂くことが重要である。	
生徒、保護者、教職員、そして、生徒や学校を支える地域社会の人々にとっても魅力ある高校づくりを目指すべきである。	
過疎地に住み、アルバイトで家計を助ける生徒や、家事を担う生徒、家族を介護する生徒にとって、自転車を通える地元高校は不可欠と思うが、配慮をしないのか。(同様の趣旨でほか1件)	
1学級、40名定員にこだわる必要はなく、「過疎地特例」として30名定員を実現して頂きたい。 全体の均衡ある発展の観点からすれば、過疎地だから県立高校の統合ではなく、過疎自治体の存続・活性化の為に、過疎地の特性に十分な配慮をした「県立高校の改革」を推進して頂きたい。 (同様の趣旨でほか5件)	
適正規模範囲内の高校(4、5、6学級)の統合を発表しその高校の校舎を使用しなくしたケースは何件あるか。	
適正規模範囲内の高校の統合を発表し、その高校の校舎を使用しなくする乱暴な統合発表はしないように、詳しく記載すべきである。	
高校と地域が共に子供達のために一緒になって努力する方向にかじをきってもらい、それを千葉県が支援するという形に政策を変えるべきである。(同様の趣旨でほか1件)	
千葉県と高校と地域が一体となり、郡部の活性化を図れるような政策に切り替えてほしい。	
地域社会との協働による魅力化ある高校づくりでなければならない。(同様の趣旨でほか1件)	
地域の歴史、伝統、文化といった地域の魅力や教育資源を生かす地域社会に開かれた高校づくりを行うべきである。(同様の趣旨でほか2件)	
郡部の全高校に特殊な役割を与え、県内外から下宿してでも学びたいような高校の設置を希望する。そのためにも、郡部の地域特性に合わせて「すべての」普通科に振り分けることを検討してほしい。	新プランにおいては、郡部の高校だけではなく、全ての高校が魅力化・特色化を進めることができるよう、特色ある学科・コースの導入等について検討してまいります。
一定規模の生徒集団を維持し、教育財産を集約して教育環境を整える学校統合は、人口減少が見込まれる本県では積極的に進めるべき教育施策である。(同様の趣旨でほか1件)	多くの友人や教職員との触れ合い、切磋琢磨する機会を確保するとともに、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動が展開できるよう、学校の規模・配置の適正化を推進してまいります。
【具体計画の方向】に「郡部では、・・・統合しない場合もあります」とあるが、下線部を「更なる規模の縮小や分校とすることも検討します」とする。	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置について検討してまいります。
郡部での適正規模を原則1学年4～8学級としているが、2～8学級、せめて3～8学級としていただきたい。(同様の趣旨でほか1件)	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置について検討してまいります。

4クラスを下回ると職員数減少に伴い、学校運営に支障をきたす。	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置について検討してまいります。
魅力ある学校づくり推進に伴う、職員の「地域振興枠」制度（加配措置）を導入し、郡部の学校運営に柔軟な対応を行っていきますという文言を入れることで郡部の魅力ある学校づくりの活性化につながるのではないかと。	御意見も参考にしながら、県立高校の魅力化・特色化を進めてまいります。
ちょっときつちりしすぎではないか。これでは、進学校の入学基準は60点、定員枠は校舎つくったときの見込み。	貴重な御意見として承ります。
適正規模、適正配置などというレベルでだけ議論するのではなく、地域の特性を活かした県全体の均衡ある発展という視点から検討すべきである。（同様の趣旨でほか1件）	県立高校の適正規模・適正配置については、生徒や保護者のニーズを踏まえ、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から成る地域協議会などにおいて意見を伺うとともに、地元自治体と充分協議するなど、慎重に検討してまいります。
私学と募集定員の割り振りについて慎重な協議をしてほしい。近年、市立も含めて公立は募集定員を厳しく遵守している。その一方、私立高校が募集定員を大きく超えて生徒を入学させている状況がある。この点について公私の協議の場でしっかりと調整してほしい。	いただいた御意見を十分に踏まえ、引き続き、公私協調のもと、十分な協議を進めてまいります。
都市部の県立高校の定員を統合等も視野に入れながら削減していくことが必要だと考える。	県立高校の適正規模・適正配置については、生徒や保護者のニーズを踏まえ、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から成る地域協議会などにおいて意見を伺うとともに、地元自治体と充分協議するなど、慎重に検討してまいります。
情報発信が大切であり、「戦略的な広報」も絶対不可欠である。中学校卒業者が減少する中、県立学校の適正配置も今後必要だと思う。生徒が減少するだけの統合ではなく、統合された学校の利点も生かすプラスのイメージを持ってプランの推進をしてほしい。	御意見を十分に踏まえ、新プランの施策を進めてまいります。
「10組程度の統合を見込んでいますが」を削除するべきである。	中学校卒業者が減少する中、活力ある教育活動を維持するためには、10組程度の統合が必要であると見込んでおります。
都市部と郡部とでは教育を受ける権利に大きな差が生じているという認識（「県立高等学校の課題」本文）に立つならば、これ以上その差を拡大させてはならない。今後、実施プログラム策定・実施にあたっては、その点を充分に考慮するべきである。	御意見を十分に踏まえながら、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。
私学の応募人数・スクールバス配置と県立高校の浮沈の関係について、検討していないのは何故か。	御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。
「県立高校の適正規模の最適化を図り、併せて学校及び学科の適正な配置」を、「県立高校の規模や配置の適正化」と修正して欲しい。	御意見を踏まえ、「県立高校の規模の適正化を図り、併せて学校及び学科の適正な配置を行います。」と修正いたしました。
「1学年」を「1学級40人換算で1学年」に変更して欲しい。	県立高校における40人未満の学級編制基準については、国の動向を注視してまいります。
他県で実施されている40人未満の学級編成を参考にしつつ、学級定員を40名から35人学級へ、さらに30人学級へと適正な学級定員を目指して欲しい。（同様の趣旨でほか2件）	
学級規模については、35人学級で2クラスなど小規模校を可能とすべきである。その際には郡部小規模校間での連携も必要である。	

<p>下総高校についてはキャリア教育を行える学校であり、職業観をもって高校生活を送ろうとする生徒達の大切な選択肢であるため統合対象にはするべきではないと考える。 (同様の趣旨でほか1件)</p>	<p>下総高校も含めた香取地域の県立高校の在り方については、地域協議会を設けるなど、地域の方々からの意見もいただきながら、慎重に検討してまいります。</p>
<p>下総高校、特に自動車科は地域や企業より必要とされている学校と考える。 (同様の趣旨でほか2件)</p>	
<p>下総高校は統合の対象にすべきではないと考える。 (同様の趣旨でほか11件)</p>	
<p>下総高校卒業生として、下総高校の存続を強く希望する。</p>	
<p>下総高等学校は現在1学年3学級編成だが、「農業」「工業」「商業」の専門学科コースを設置しているという特色がある。地域でなくてはならない学校だと思うので、存続させてほしい。 (同様の趣旨でほか8件)</p>	
<p>下総高校が理想とする現在の定員数、1年から3年生までの学科別の数字を示して欲しい。</p>	
<p>案には「懇談会でいただいた意見を踏まえる」とある。副座長意見のほか「1市町1校の場合の特段の配慮」等についても、策定懇談会での委員間の活発な意見交換をお願いする。</p>	<p>いただいた御意見も参考にしながら、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。</p>
<p>「多くの友人や教職員との触れ合いや切磋琢磨～」部分の「友人」は、「同級生・仲間」等に修正するべきである。あるいは、この部分そのものを「様々な人々との出会いや学びの機会」とするのも良いと思われる。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>子供を含む若い世代がこの地域で「学びたい」「生きたい」「子供を育てたい」という魅力ある高校づくりを推進すべきである。</p>	<p>御意見を踏まえ、新プランの施策を進め、県立高校の魅力化・特色化を進めてまいります。</p>
<p>全体</p>	
<p>前プランの「改革の方向性、重点項目」、学科別の「具体計画の方向性」が実現できなかった理由は、「改革の方向性」等を実現するための施策群の欠如(学科等の再編を除く)と、評価委員会の未設置によりPDCAサイクルが機能しなかったためと考えるがどうか。</p>	<p>前プランの評価につきましては、再編の実施年度から3年が経過し、初めての卒業生が輩出される年に合わせて各種調査を行い、外部からの意見聴取を実施しながら行っております。</p>
<p>前々回プラン高校再編の評価は評価委員会が行った。前プランは評価委員会がなく、教育委員会の内部評価も実施プログラムに記載されている学科・コース設置など高校再編のみの評価だ。他県は「改革の方向性」全項目について毎年評価している。この違いはなぜか。</p>	
<p>新プランでは、「改革の方向性」等を着実に実現するため、他県のように、副座長意見の主要施策群を掲載し、その進捗状況を確認する評価委員会も設置し、毎年「改革の方向性」等の進捗状況の評価し改善を続けるPDCAサイクルを回すべきと思うが、どうか。</p>	<p>新プランの評価については、いただいた御意見も踏まえ、適切に行ってまいります。</p>

<p>副座長意見の「教育委員会の学校への指導支援、財政支援、人事支援、事務室の改革、環境整備」は、東京都のプランでは次の10項目となる。区分はともなくぜひ掲載してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立に必要な「知」「徳」「体」の育成 ・グローバル人材の育成 ・社会的・職業的自立意識の醸成 ・高校における特別支援教育の推進 ・組織的な学校経営の強化 ・教員の質・能力の向上 ・安全で環境に優しい施設設備 ・就学機会の適正な確保 ・社会の変化に対応した入学者選抜の改善 ・課題を抱える生徒の自立に向けた支援の充実 	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>なぜパブリックコメントについて市町村長あて通知しないのか。</p>	<p>「ちばづくり県民コメント制度（パブリックコメント）に関する指針」に基づき、適切に実施しております。</p>
<p>本計画書は、教育立県として今後必要とされる教育施策が縷々提示されているが、“検討”“研究”といった表現が多く、具体性に欠けており将来像がイメージできない。</p>	<p>本プランに基づく具体的な実施内容については、今後策定する実施プログラムにおいて示してまいります。</p>
<p>公教育の片翼を担う私立学校の視点の欠如が甚だしい。特に、“戦略的”な広報・生徒募集などは、公立王国千葉の足場固めとも捉えることができる。公費を後ろ盾とする公立学校が、今後少子化で経営が逼迫する私立学校とどのように共生するのか。具体的に示していただきたい。</p>	<p>「戦略的な広報」とは、情報を届けたい相手に、届けたい内容を確実に伝えるような効果的な広報を行うものと考えております。今後の中学校卒業生数の減少等を踏まえ、県立高校の適正規模・適正配置に努めてまいります。</p>
<p>近年、郡部在住者が第9学区から第1学区、第8学区から第9学区へ進学するなど、都市部の高校へ進学することが増えている。このままでは、地域の若年層の流出が助長され、地方の人口減少が加速してしまう恐れがある。子どもたちが地域に留まれるような、偏差値が高く、都市部の学校とも戦える学校を整備することを期待する。</p>	<p>人口減少が教育の地盤沈下を引き起こさないよう、県立高校の魅力化・特色化を進めてまいります。</p>
<p>全般的に、今後の学校運営に合致したプランである。</p>	<p>各県立高校の魅力化・特色化につながるような学校運営を推進してまいります。</p>
<p>産業構造や社会構造が大きく変わった今日、戦後まもなく基礎が作られた高校教育では網羅しきれない状況がたくさん発生している。その部分を、どこが、誰が、どのような形で支えていくのか。おそらく正解のない問いに、今回の改革推進プランは、「教育が夢と理想を掲げないで誰か明るい未来を語るのか！」と叫んでいるような印象を受ける。その意味では、とても明るく、希望を持って未来を語り合えるプランだと思える。その点は、高く評価すべきである。</p>	<p>今後も、子どもたちの明るい未来に繋がるよう、県立高校の魅力化・特色化を進めてまいります。</p>
<p>学校の情報発信が極端に不足している。また、知名度を上げるための戦略戦術が欠けている。</p>	<p>本プランでは、戦略的な広報を計画実施上の重点事項に掲げ、効果的な情報発信に努めることとしております。</p>

<p>時代の変化が速いので、マスタープラン計画を早期に策定してほしい。</p>	<p>本プランについては、具体計画となる実施プログラムを策定し、推進することとしています。</p>
<p>県立高校では、教員の定期異動等により、各校のスクール・ポリシーに基づいた教育の持続可能性が低下する恐れがあるとともに、地域や地元自治体との連携が求められていることから、私立高校並みに熱意と郷土愛を持つ教員の育成に努めるとともに、校長以下、中長期的スパンでの同一校での生徒指導及び学校運営の目標値を定め、実践してほしい。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>日本語指導が必要だが学習能力は高い生徒はどのような学校を選択できるのか示してほしい。</p>	<p>新プランにおいては、様々な配慮を必要とする生徒に対し、個々に応じたきめ細かな支援を推進することとしております。</p>
<p>本来なら高校卒業後に就職すべき生徒と仕事をきちんとマッチングできていないのか、それともそもそも就職を志す生徒が少ないのかはっきり示してほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、今後の社会の変化に対応した人材の育成を見据えた実践的なキャリア教育を推進してまいります。</p>
<p>高校生が「担い手」「人材」として育成されることを前提とされている表現に違和感がある。高校での学びは、社会に役立つ前提でなければいけないのだろうか。大人は子どもたちに対して「個人が自立した社会人として生きていくための術を身につけることが、結果として社会の役に立つ」という方向性で高校での教育を語って欲しいと強く願う。「役に立たない人間は生存価値がない」と子どもたちが考えてしまわないように、くれぐれも気をつけて欲しい。</p>	<p>貴重な意見として参考にさせていただきます。今後も生徒の成長を支える指導の充実を推進してまいります。</p>
<p>この間の県立高校改革推進プランについて、どこの自治体でも実施しているPDCA【Plan（計画）、Do（実行）、Check（測定・評価）、Action（対策・改善）】の仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高めようという姿勢が視えない。</p>	<p>いただいた御意見については、新プランを推進する際の参考とさせていただきます。</p>
<p>都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、充実した高校生活をおくる「地域みらい留学」制度を採用しないのは何故か。</p>	<p>いただいた御意見も参考にしながら、新プランを推進してまいります。</p>
<p>島根県の離島にある県立隠岐島前高校で2008年に始まった「隠岐島前教育魅力化プロジェクト」の教訓が全国各地に拡散したが、千葉県で取り入れないのは何故か。</p>	